



もしものときに備えて「人生会議」をはじめてみよう

長寿応援課 ☎048(473)1395

人生会議 (ACP) とは

将来の医療やケアについて、元気なうちから本人、家族、医療・介護チームが繰り返し話し合ひ、自分の希望を共有する取り組みです。意思表示ができなくなった時も自分らしい最期を迎えるようにする目的があり、厚生労働省はこれを「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」という愛称で普及推進しています。



どんな治療を受けて、どこで過ごしたいですか?
まだ先のこと、最期の治療だけと思っていませんか?
1度話せば良いと思っていませんか?
家族に伝えているから大丈夫と思っていませんか?

- <人生会議を考えるステップ>**
- ステップ1 もしものときを考えてみましょう
 - ステップ2 信頼できる人はだれかを考えてみましょう
 - ステップ3 主治医に質問してみましょう
※病気療養中でない人は省略して構いません
 - ステップ4 希望する医療やケアについて話し合いましょう
 - ステップ5 エンディングノートなどに書き留めておきましょう



▲人生会議してみませんか?
(厚生労働省ホームページ)



▲人生会議動画
(厚生労働省 YouTube)

医療と介護フェスタを開催しました

令和7年11月18日（火）に市民会館仮設会議室（マルイファミリー志木8階）で、在宅医療の講演や医療と介護の相談体験会、福祉用具の展示や体験、人生会議についてのPRを実施しました。

参加者からは「自分が人生の最終段階にどんな医療や介護サービスを受けたいか分からぬ」などの声がありました。

この機会にぜひ、人生会議をはじめてみましょう。

人生の最期を考える (ACP普及啓発セミナー)

医師の講話などをとおして、自分の価値観に気づき、これから何をすると良いのかをいっしょに考えてみましょう。

とき ①3月10日（火）13時30分～ ②3月26日（木）13時30分～

ところ ①総合福祉センター ②市民会館仮設会議室（マルイファミリー志木8階）

講師 ①芝原 司馬さん（いろは橋クリニック院長） ②相原 大和さん（志木柏町クリニック院長）

主催 志木市在宅医療・介護連携代表者会議

申込み・問合せ 各開催日の前日までに電話で、長寿応援課へ



▲当日の様子

「がんと向き合う暮らしのガイド」を配布しています

朝霞地区の医療・介護に従事する多職種グループ（朝霞地区在宅緩和ケア推進ネットワーク）では、がんを患っても住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、市民の皆さんができる医療・介護サービスや支援策を分かりやすくまとめた冊子を作成しました。市役所や各高齢者あんしん相談センターで配布しています。

